



## 道徳を語る一方、約束を違えさせる

公約は反古

「沖縄の普天間基地は県外に」を公約に掲げて沖縄選出の自民党国会議員は当選。しかし、石破幹事長の圧力で辺野古移転推進に方針転換。同じ公約を掲げた仲井真知事も安倍首相と会談後、辺野古埋め立てを承認。公約を翻させるのは人への約束を破れと云う事。

道徳的にどうか？

自民党は道徳教育を強化すべく「教科」化を云々している。道徳を云々するなら、石破幹事長は次のように云うべきではないか？

即ち「公約の『普天間基地を県外に』を反古にするのは道徳的におかしい。道徳教育を推進する自民党の方針に反する。約束は約束。

最後まで守れ」と。公約は当選する為？

「普天間基地は県外ではなく辺野古に移転しよう」と選挙で訴えていたら、仲井真知事も、自民の衆院議員も当選しなかった筈。要するに「有権者を欺しても当選すればこつちのもの」と云う訳か。

安倍首相は

安倍首相は「平和の為に靖国に参拝した」と云う。しかし、靖国神社で、侵略戦争を遂行し諸外国と日本国民に被害をもたらしたA級の戦争犯罪人に手を合わせたのだ。

「殺生するなよ」と云いながら殺生の神を崇めるようなもの。皆さんはどう思われますか？

回想

## 白を作る店

横浜市南区六ツ川



2014.1.7 徹

もう五十年近く昔のことになるが、横浜の南区、平戸桜木町線（通称六ツ川街道）沿いに白を作る店があった。ひと抱えもある輪切にした櫛（けいぎ）に凹みを掘り白を作っていた。

一メートル位の巨大な鎌のような道具を使っていた。鎌の刃の部分は白の凹みに合わせて曲がっている。刃の幅は小さく、謂わば曲がった刀。親方だろう両手で工具をひねるようになしながら、凹みを掘っていく。額には汗粒がいつぱい。かけ声をかけながら。他に杵（きね）の先端を整形する職人も。

白を作る現場を見たのは、後にも先にも、この時だけであったが、独特な工具の形を今でも鮮明に思い出すことが出来る。しかし、店の名前や看板、建物は忘却の彼方だ。